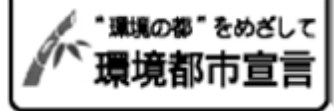


# 環境の都ニュース

2013. 9. 1 NO. 71



発行：長岡京市  
環境の都づくり会議  
発行責任者：江川 宗治  
編集担当者：山本 雅夫

## 「長岡京市環境の都づくり会議」の新体制スタート

当会は、平成13年3月に『長岡京市環境基本計画』が策定されたのを契機に、市民レベルでもその実現に向けて出来る事から取組んで行こうという趣旨に賛同する市民、事業者、行政等が一体となって翌平成14年1月20日に結成された団体で、多数の市民や賛同者に支えられ、現在12年目に入っています。

ところが既にご案内の通り、『長岡京市環境基本計画』が10年を経過して大々的に見直され、『第2期環境基本計画』が昨年度制定されたのを受け、発足時よりこれまで当会の事務局業務も担っていた長岡京市環境経済部（環境政策監）が、新年度より事務局業務から手を引かれることになりました。

発足時より手を携えて『環境首都への道』を歩んで来ただけに、我々もその対応には苦慮し、会員にも色んな意見がありました。もとより環境保全活動は短期的なものではなく、継続していくこと

でその成果が評価されるものであり、大勢の市民や協力・支援頂いた方々に対しても簡単に任務を放棄するわけには行きません。

今後も市とは連携を保ちつつ、単独のボランティア団体としてのメリットを活かして、会員一同の知恵を出し合い、新たな分野への挑戦などにも取組んで行こうと思っています。『環境の都づくり会議』として、市民や関係団体、企業、商店等の想いを共有する大勢の皆様と共に、『環境首都』に一步ずつでも前進させる取り組みに貢献できるよう、注力してまいりたいと考えています。

新事務所は、『長岡京市多世代交流ふれあいセンター』（通称“こらさ”）内に置き、5月度より活動を始めています。

10月12日（土）長岡公園一帯で行なわれる「第5回長岡京竹あそび」でも、当会が中核団体の一つとして企画・運営に積極的に携わっています。（詳細4面参照）

現在、若手メンバーを中心に自前のホームページも構築中で、未だ完成していませんがご覧いただける段階になりました。（<http://kankyonomiyako.jimdo.com/>）

ご覧頂いて多くの皆さんと情報や意見交換を積極的にしていきたいと考えています。

関係者の皆様には、一層のご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

長岡京市環境の都づくり会議 代表 江川 宗治



昨年の竹あそび風景

## ビオトープ PJT

### 西代橋ですくすく教室：神足小学校

7/13 (土) 小泉川の西代橋から上流で神足小のすくすく教室の子供達54名、父兄4名の参加により、水質調査、水生生物採集、魚釣りなどを実施。当日は外気温31℃と、とても暑かったのですが水温23度と水の中での遊びは大変気持ち良かったです。

写真右：さすがに54名もの子供達が水の中にはいるとたちまち濁ってしまいます。そんな中でも、サワガニ50匹以上、カゲロウの幼虫5匹、子供達のはじめての魚釣りでカワムツを3匹も釣ったのには驚きました。ドンコ2匹、ヨシノボリ1匹、エビ1匹、カワニナ3個採集できました。帰りには川に戻してやりました。

ビオトープPJT 小根田



## 里山再生 PJT



### 平成25年度第2回西山フアミリー環境探検隊

2013年7月28日(日) 9時～12時

西山森林整備推進協議会主催 参加者72名〔公募参加者親子：39名、京都府立大学森林ボランティアサークル「森なかま」：24名、市役所(西山森林整備推進協議会)：3名、環境の都づくり会議：5名(江川、古澤、柳沼、草場、加藤)、里山再生市民フォーラム：1名〕

7月に入ってから猛暑がつづき今日も、うすぐもりとはいえ京都の日中最高気温は35度に達しました。9時30分集合、体操の後4班に分かれて西代橋周辺で活動しました。今日は看護師さんにも参加してもらいました。

1) 紙芝居：京都府立大学(写真1) ある日、家の水道の水がとまり家の前の川の水が流れていません。外にでてみると、森の木のおじさん達が、住み心地が悪いので、引越しようとして歩いているのに出会います。水に関するクイズをといて、森の木のおじさん達を引き止めることができるでしょうか。

2) 水鉄砲づくり：筒は真竹、棒の部分はすぐ近くで採取した黒竹です。真竹切り、穴あけ、布巻きとむつかしいのですが、学生さんの個別指導でなんとかできました。川遊びの達人・柳沼さんが5m先を左右に横切るのをめがけて、水をかけました。ダンボールの的を作って遊んだ班もあります。



写真2

3) ほたるの水路見学：新しく第2外環の完成後できた水路で、ホテルのえさになるカワニナを入れています。

4) 川遊び(写真2, 3)：ほたる水路のちょっと上流部は生物が一杯。サワガニ取り、網でさかなすくい、水鉄砲で水かけ、胸までぬれる子も何人かいて大騒ぎ。ミミズを食べるサワガニを見て、びっくり。あっという間に40分経ちました。

5) スイカ、キュウリ：朝一番に地元農家の方にキュウリ70本を届けていただきました。それと4個のスイカを川で冷やしておきました。キュウリは塩をふって丸かじり。スイカはどれも甘くて、暑さの中で水気の多いくだものは本当に何よりでした。

最後に班代表の子どもさんの発表があり、(無事終了しました。暑中おつかれさまでした。看護師さんのご参加ありがとうございました。次回は10月19日(土) どんぐりまつりに参加です。10月市民広報募集です。

報告 里山再生PJT 加藤克巳



写真1

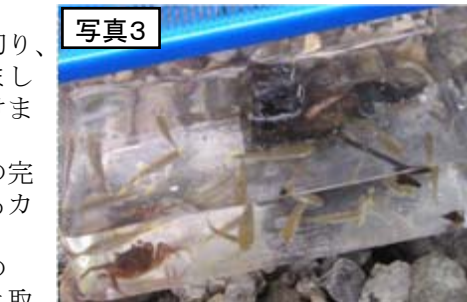


写真3

### エスリードマンション夏休み子ども工作教室

8月18日(日) 14時～16時 マンション1階共用スペース

参加者 合計27名〔参加者14名(うち大人2名)、保護者(自治会関係者含む)：10名、スタッフ：里山再生(大藪、川浪、加藤)〕

里山の木の枝、実などを使った子どもさん向けの工作教室、今年で4回目になります。マンション・エスリード自治会の皆さんです。最初に、西山で起っている鹿の害やナラ枯れの話をししました。今年はカブトムシとウエルカムボードづくりです。スギ板に木の輪切りでつくったウサギ、ネズミ、カエル、シカ、クマなどとカブトムシや木の実を貼り付けます。下に名前などを書いた楕円形の輪切りを吊り下げます。例によって子どもたちはいろんなことを考えだします。ミノムシ、雪だるま、卵の入った鳥の巣、ビーズをくさり状に吊り下げるなどをやってくれました。途中でジュースを飲んで休憩。最後は一人ずつ名前と作品を紹介しました。

報告 里山再生PJT 加藤克巳



作品の写真

## 第12回子ども夏休み里山工作教室

平成25年8月3日(土) 9時～15時30分 場所：こらさ学習室3

参加者：43名 [公募参加者：32名(子ども20名 保護者12名)、スタッフ11名 (フォーラム9名、環境の都づくり会議1名、一般1名)]

毎年木や竹の間伐材の利用促進、山に親しみ山に来てもらうことを狙いに行っており、今年で12年目になります。今年はまずかぶと虫をつくり、次にウェルカムボード、自動車、自由作品から一つ選びます。ウェルカムボード(写真右) 低学年が多く動物の顔など細かい作業が多いのでなかなか大変です。1時間作業したところでティータイム(ジュース、お茶)をとります。全作品とも色塗りができます(アクリル絵の具、カラースプレー、マーカーを用意)。女の子、男の子数人は



自由作品で塔、鹿のあたま、どんぐりの図書館、マイツリーなどに挑戦する子もいました。いつもながら子どもはいろんなことを思いついたり、やってみるのでびっくりです。

使用した主な材料です。里山の使用材料(街路樹を含む)各種枝、各種輪切り(すぎ、ひのき、山桜、りょうぶ、椿、こなら、きり、うりかえで、竹、なすび・ピーマンの乾燥した幹など)各種実(くぬぎ、マテバシイ、プラタナス、なんきんはぜ、シャリンバイ、まつぼっくりなど)

主催 長岡京市里山再生市民フォーラム、  
長岡京市環境の都づくり会議(里山再生プロジェクト)  
後援 西山森林整備推進協議会

報告 里山再生PJT 加藤克巳



製作風景



## エコチーム PJT



### 市役所にて省エネ相談会を開催

7月3日(水)に、長岡京市役所1階ロビーで省エネ相談会を開催しました。省エネ相談会では、日頃の生活の「暑さ対策」や「家電製品の使い方」などについて答えていただき、その結果について相談員とエコ生活についてお話させていただきます。今年の夏は特に暑く、皆さんの節電などへの関心が高いためか50人も多くの人が相談に来ていただきました。質問20項目の中で、よく実施されている項目は「人がいないときは照明を消す」(86%)、

#### 省エネ生活行動の質問(アンケート)内容

1. 扇風機・うちわを使う
2. 涼しいときは軽い運動をして、汗をかける時はかく
3. クーラーは28℃・風量自動で使う
4. 1～2か月に1回、エアコンのフィルターを掃除する
5. よしず・すだれ・緑のカーテンで直射日光をささげず
6. テレビを省エネモードに設定し、見る時間を減らす
7. 人がいない時は照明を消す
8. 白熱電球を、LED電球や電球型蛍光灯にする
9. こまめに電源を切り、コンセントを抜く
10. 家電製品の買い替え時、省エネ性能の高いものを選ぶ
11. 鍋・やかんの底についた水滴を拭いてから加熱する
12. 炊飯器の保温をやめる
13. 電気保温ポットをやめて、魔法びんで保温や保冷をする
14. 冷蔵庫の周囲に5cm以上の隙間を空ける
15. 冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」にする
16. 掃除機の強さは、「中か弱」で使う(切り替える)
17. 部屋の整理をしてから掃除機を一気にかける
18. 衣類乾燥機を使わずに、天日乾燥をする
19. シャワーの使用時間を短くする
20. 便座の「保温・温水」機能を冬まで切っておく



市役所ロビーでの相談会

「衣類乾燥機を使わずに、天日乾燥をする」(83%)、「扇風機・うちわを使う」(82%)でした。反対にあまり実施されていない項目は「1、2か月に1回エアコンのフィルターを掃除する」(32%)、「白熱電球をLED電球や電球型蛍光灯にする」(40%)、「テレビを省エネモードに設定し、見る時間を減らす」(47%)でした。今年の夏はとりわけ暑さが厳しいですが、熱中症にかからないよう適切な省エネ方法が必要です。アンケートに記載されています省エネ方法を紹介します。今行っておられる省エネ方法にもう一つ加えて暑さを乗り切るトライをしてみませんか。

エコチームPJT 田原誠一郎

### 憩いの森のハンモック



## 竹林再生 PJT

### 憩いの森に ハンモック完成

金ヶ原竹林で進めている「小鳥がさえずる憩いの森づくり」今期のメインはアスレチック。その一つとして貰ったテニスコートのネットでハンモックを造りました。人が乗ったら多少沈みますが、寝そべりながら上を見れば緑溢れる森の樹々が心を癒してくれます。9/13には早速、女性団体のお客さんが来てくれます。私達が活動している竹林整備や森の整備を見て頂き、また体験を通じた交流の中で少しでも活動を理解して頂ければ幸いです。準備を進めています。

竹林再生PJT 渡辺



## 第69回 環境教育ミーティング (平成25年度のテーマ：環境とエネルギー)

入場無料

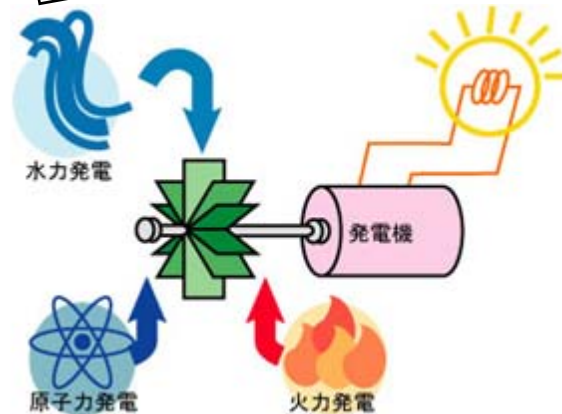
講師：村木哲男さん

演題：エネルギーを巡る最近の動き（暮らしの中のエネルギー・電気）

日時：平成25年9月19日（木） 夜7～9時

会場：長岡京市立中央公民館 2階・講座室

お話の内容：経済・社会生活にとって最も重要な役割を担うものの一つがエネルギーです。とりわけ市民の暮らしに直結している「電力」は、いま大きな変換の時期を迎えています。これまで、電力事業は地域独占、公益性の位置づけの中、事業活動が行われてきましたが、近年は制度改革が進み、既に工場等への電力供給の自由化がなされています。将来は一般家庭でも、いわゆる電力会社からだけでなく自由に何処からでも電気を購入できる時代が来る事になりそうです。再生エネルギーの推進も含め、これからの社会の変化などを見つめてみたいと思います。



### 講師のプロフィール

経済産業省（近畿経済産業局）において地域整備、活性化事業、電力・産業部門の保安規制、企画関連、国際化推進、エネルギー対策などの業務に携わる。この間、工業技術院、地域振興整備公団、NEDO技術開発機構にも出向。平成19年退官。現在、大学非常勤講師、行政書士。

環境教育PJT 西村 日出男



## トピックス



### 「長岡京竹あそび」10月12日（土）開催

竹林再生PJTは8月の猛暑の中、休みを返上して竹あそび開催に向かって準備作業に取りかかっています。このイベントは環境の都づくり会議全体の事業と位置づけ、打合せ会を数回行い大まかな全体構図が整ってきました。今年のオブジェは五山の送り火ならぬ大、舟形、鳥居の三山を竹灯りで表現します。

また竹林内には竹チップを敷き詰めた通路を造り両サイドに40個のお玉ちゃんの竹行燈を並べ幽玄の竹灯りを楽しんで頂こうと考えています。但し準備には下記日程の通り竹切り等大変な作業があります。9月号の広報にも市民の参加を呼びかけていますが特に会員皆様のご理解なくては達成出来ませんのでご協力の程、宜しくお願い致します。

#### 作業日程

8/26（月）竹切り、8/27（火）竹筒づくり、9/2（月）竹チップづくり、9/9（月）行燈づくり、9/17（火）・9/24（火）・9/30（火）・10/7（月）・10/10～10/13日の8日間は長岡公園竹林で準備作業。

上記作業日はいずれも中央公民館駐車場集合、9時車乗り合い等でお発。午後も作業出来る方は昼食持参でお願いします。

雨天等の問い合わせ先 湯川圭造（09087591757） 竹林再生PJT 湯川

### ★★★ 環境の都づくり会議のプロジェクトと連絡先 ★★★

プロジェクト名	内 容	連絡先	T E L
里山再生PJT	森林ボランティア他	加藤 克巳	951-0933
環境教育PJT	環境教育ミーティング	西村 日出男	952-3718 FAXも同じ
エコチームPJT	地球温暖化防止への取組み	田原 誠一郎	953-1696
ビオトープPJT	ビオトープや川あそび	小根田 勝信	957-4081
花を咲かそうPJT	街角花いっぱい運動	湯川 智子	952-5505
まち歩きPJT	市内を歩いて再発見(地元学入門)	< 休 止 中 >	
竹林再生PJT	竹林再生	湯川 圭造	090-8759-1757

「環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。協賛金 一口年間1000円（一口以上） あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。連絡、問い合わせは上記プロジェクトの連絡先へ下さい。

編集後記：8月21日、首都圏の水瓶、小河内ダムで人工降雨装置を稼働させ、少しの降雨があった。北京五輪では開会式の降雨を避けるため、人工降雨施策が実行された。共にヨウ化銀を使用しており、小河内ダムの施設は東京五輪の為に設置されたもの。五輪が科学技術進歩を促す事例？です。今後、人工降雨の技術が進むと降雨が操作出来、渇水への対策手段になる。しかし、自然に手を加えることになり、温暖化の様な環境問題の要因になることは容易に想像できる事です。（文；山本）